

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～「自分の周りには、なーんにも 面白いことが起きないなあ。

どうすれば 面白くなるんだろう？」なんて考えてませんか？～

さあ2学期のスタートです。今回は・・・

千原ジュニアさんがお笑いの「よしもと」の養成所に特別講師として、お話をされた時に、こんなやりとりがあったそうです。

「ジュニアさんは、ネタ作りはどんな時にしているのですか？」

「いまと言えばいま、さっきと言えばさっき、

これからと言えばこれから。

つまり俺は・・・24時間お笑いのことを考えています。

そういうことです。」



さらに・・・

「なんでジュニアさんの周りではそんな面白いことばかり起こるんですか？」
という質問に対しては、ジュニアさんは次のように答えました。

「お笑い芸人の周りだけに、面白いことが起きてるはずなんかない。

でも、われらは「人に面白い話をする」って決めて生きている。

だから面白いものが引かかるんや。」

面白いことが起きる人は、日常の中で、面白いことに「視点」をあてています。

面白いことが起きない人は、面白くないことに「視点」をあてている。

違いはそれだけ。

あなたは、この世界で何を体験したいのか？

何を見たいのか？

何を大事に生きたいのか？

何があなたの幸せなのか？

そこを明確にしてみてください。

あなたの意識が変わったら・・・1秒で世界が変わります。

外側にあるものが現実として見えるのではない。

自分の心の中にあるものが見える。それがこの世界のカラクリです。

「あなたの人生がつまらないと思うんなら、それはあなた自身がつまらなくしているんだぜ。」

ひすい ことろう（ディスカバー・トゥエンティワン）



私の子どもは双子なんですけど・・・街を歩くと・・・双子のベビーカーをよく見かけるようになり・・・

「双子って、結構多いんやなあ。」と感じていました。（双子が急に増えたわけでもないのに・・・）
車を購入すると、自分と同じ車種の車をよく見かけるようになりました。（その車種が人気車として爆発的に売れているわけでもないのに・・・）

この話でいうと、それまで「双子」や「車」に意識がいてないから、気づかなかった、見えてなかっただけということ。たしかに、意識が変わった瞬間に・・・見える「現実」が変わるんですね。

さあ2学期が始まります。

自分から視点・意識を変えて、見える「現実」や「世界」を変えていきませんか？